



岡田 聡 議員

# 家族農業を守るには

町長

## 現状の中で支援していく



環境や地域を守る家族農業

〔岡田〕国連食糧農業機関によると家族農業は、先進国、開発途上国ともに、食糧生産にとって主要な農業形態となっており、世界の食糧生産額の8割を占めている。このような状況から、国連では2019～2028年を家族農業の10年と定め、施策の推進や知見の共有などを求めている。

どのように認識しているか。

〔町長〕食糧安全保障や食糧主権を支える重

要な基盤と認識している。

〔岡田〕JAグループ鳥取は農業生産の拡大や地域の活性化の実践を通じて、家族農業をはじめとする多様な農業の発展をサポートしていくとしている。

町としても支援していくべきと考えるがどうか。

〔町長〕小規模農業者でも持続的に農業をしていけるように、現在の支援策の中でできる限り支援していく。

町長

# SDGsへの積極的な取り組みを

## 総合戦略の中に盛り込む

〔岡田〕政府の推進するアフションプランの3本柱、「企業とSDGs」「地方創生とSDGs」「次世代と女性の能力開化や権限付与」は、日本ならではのSDGsの形を作り、全国に行き渡らせる、となっている。

〔岡田〕町内企業とタッグを組んで取り組むべき企業価値が上がると思うが。

〔町長〕負担が大きくなる範囲で進めたい。

持続可能な自治体をつくるためにも、積極的に取り組む必要があるのではないか。

〔町長〕グローバル、国レベルの枠組みとしてだけでなく、企業や地域の取り組みとも同時に進めるべき内容が強く、地域レベルとの結びつきを工夫する必要があります。作成中の第



多様なアプローチのSDGs

※このほか「行政の効率化」も質問しました。